

受験番号		名前	
------	--	----	--

平成 30 年度大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テスト

第 1 次選考 筆答 問題（択一式）

受験中の心得

- 1 試験時間中は、すべて係員の指示に従ってください。お互いに話をしたり、席を立ったり、そのほか、人の迷惑になるようなことをしてはいけません。
- 2 解答用紙が配付されたら、まず名前を記入し、受験番号等を次の〔記入例〕に従って黒くぬりつぶしてください。

〔記入例〕

解答用紙		名前	
受験番号		教育 花子	
A	9 8 7 6 5 0	会場	教室 席番
A	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	A	1 0 2 0 4 5
B	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	A	2 3
C	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	B	1 2
D	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	C	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
E	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	D	1
F	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	E	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		F	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

- 3 答えは解答用紙に記入してください。機械が判読できず解答が無効となる場合がありますので、マークは **HB、B の鉛筆** で濃く確実にぬりつぶしてください。また、受験番号等の記入ミス等、不正確な記入をした場合は解答用紙が無効になることもありますので、正確に記入してください。
- 4 問題はいずれも五つの答がでていますが、そのうち最も適切と思われる答えを一つ選んで、解答用紙の問題番号の右にある五つの数字のうち一つを次の〔解答例〕のように黒くぬりつぶしてください。

〔解答例〕

1 日本の首都はどこか。1～5から一つ選べ。

1 京都 2 奈良 3 東京 4 名古屋 5 大阪

この場合、正答は「3 東京」なので、解答用紙の問題番号 1 の右横に並んでいる③を黒くぬりつぶせばよいのです。

1	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

- 5 間違っぬりつぶしたときは、消しゴムでよく消してください。
- 6 問題は 1 ～ 30 まであります。
 - ・ 社会人経験者特例、または講師等経験者特例に該当する受験者は、16 ～ 30 の問題のみ解答してください。それ以外の問題を解答しても採点はしません。
 - ・ 特例なしの受験者は、30 問全てを解答してください。
- 7 試験時間は、特例なしの受験者は 90 分、社会人経験者特例、または講師等経験者特例に該当する受験者は 70 分です。
- 8 試験開始から試験終了まで、退室できません。
- 9 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 10 計算を必要とする場合は、問題集の余白を利用してください。
- 11 そのほか、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の各文のうち、〔 〕内に示されている法規名と、条文または条文の一部の組合せとして誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。

1 〔教育公務員特例法〕

教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

2 〔社会教育法〕

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

3 〔教育基本法〕

すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない。人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。

4 〔学校教育法〕

校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。

5 〔学校保健安全法〕

学校においては、児童生徒等の心身の健康に関し、健康相談を行うものとする。

2 次の各文は、学校教育法第二十一条に記されている義務教育の目標の一部である。空欄A～Dに、下のア～ケのいずれかの語句を入れてこの条文の一部を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- ・ 学校内外における を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ・ 我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、 を尊重し、それらをはぐくんできた を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。
- ・ の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと。

ア 家族と家庭	イ ボランティア活動	ウ 自然体験活動
エ 伝統と文化	オ 自他の権利	カ 国土と歴史を学ぶ態度
キ 我が国と郷土を愛する態度	ク 社会と個人	ケ 社会的活動

	A	B	C	D
1	イ	ケ	カ	ア
2	ウ	エ	キ	ア
3	ウ	オ	カ	ク
4	イ	エ	カ	ク
5	ウ	オ	キ	ク

3 次の各文のうち、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）に関する記述の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- A これからの教育課程には、社会の変化に目を向け、教育が普遍的に目指す根幹を堅持しつつ、社会の変化を柔軟に受け止めていく「社会に開かれた教育課程」としての役割が期待されている。
- B 学習する子供の視点に立ち、教育課程全体や各教科等の学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から、育成を目指す資質・能力を整理する必要がある。その上で、整理された資質・能力を育成するために「何を学ぶか」という、必要な指導内容等を検討し、その内容を「どのように学ぶか」という、子供たちの具体的な学びの姿を考えながら構成していく必要がある。
- C 教育課程とは、学校教育を通じて育てたい姿に照らしながら、必要となる資質・能力を、一人一人の子供にいわば全人的に育てていくための枠組みであるため、特定の教科等や課題に焦点化した学習プログラムを提供しなければならない。
- D 子供たちに必要な資質・能力を育てていくためには、各教科等での学びが、一人一人のキャリア形成やよりよい社会づくりにどのようにつながっているのかを見据えながら、各教科等をなぜ学ぶのか、それを通じてどういった力が身に付くのかという、教科等を学ぶ本質的な意義を明確にすることが必要になる。

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	×	○	○
5	×	○	○	×

4 次の各文は、平成29年3月に文部科学省から示された新しい中学校学習指導要領「総則」の教育課程の実施と学習評価に関する記述の一部である。空欄A～Dに、下のア～クのいずれかの語句を入れてこれらの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- ・ 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、生徒の で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。
- ・ 生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、 に取り入れるように工夫すること。
- ・ 生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。
- ・ 創意工夫の中で学習評価の妥当性や が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進するとともに、学年や学校段階を越えて生徒の学習の成果が円滑に接続されるように工夫すること。

ア 主体的・対話的	イ 主体的・自律的	ウ 計画的
エ 調和的	オ 手順や指標	カ 場面や方法
キ 中立性	ク 信頼性	

	A	B	C	D
1	ア	ウ	カ	ク
2	ア	ウ	オ	キ
3	ア	エ	カ	キ
4	イ	ウ	カ	キ
5	イ	エ	オ	ク

5 次の各文は、教育に関係のある人物についての記述である。空欄A～Cに、下のア～カのいずれかの人名を入れてこれらの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- ・ は、イギリス産業革命期に、ニューラナークに紡績工場を建設し、工場内に性格形成学院を設立した。教育環境の整備によって望ましい性格の形成が可能であると考え、教室の環境整備、音楽やダンスの重視、直観教授などの採用によって成果をあげた。
- ・ は、フロイト (Freud, Sigmund) の精神分析学に基づき、子どもを抑圧する権威を退け、自由と自治の教育を提唱し、その実践のため、サマーヒル学園を創設した。
- ・ は、ルソー (Rousseau, Jean-Jacques) の影響を受け、『隠者の夕暮』を著した。直観教授が重要であるとし、知・徳・体の諸能力の調和的発展の基本は家庭及び万人就学の小学校での基礎陶冶にあるとした。

- ア ケルシェンシュタイナー (Kerschensteiner, Georg Michael)
- イ オーエン (Owen, Robert)
- ウ ペスタロッチ (Pestalozzi, Johann Heinrich)
- エ ロック (Locke, John)
- オ デューイ (Dewey, John)
- カ ニイル (Neill, Alexander Sutherland)

	A	B	C
1	ア	エ	ウ
2	ア	カ	オ
3	イ	エ	ウ
4	イ	エ	オ
5	イ	カ	ウ

6 次の各文は、発達理論や学習理論の提唱や研究を行った人物についての記述である。空欄A～Cに、下のア～カのいずれかの語句を入れてこれらの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- ・ コールバーグ (Kohlberg, Lawrence) は、ピアジェ (Piaget, Jean) の影響を受けながら、道徳の認知発達の理論を構築した。コールバーグによると、道徳の発達は [A] からなるものであるとされる。
- ・ ヴィゴツキー (Vygotsky, Lev Semenovich) は、子どもの発達に教育が主導的役割を果たすとする [B] を唱えた。これは、子ども一人のできる水準と、大人など自分より有能な他者の支援を受けながらできる水準の差分を指し、今はできないが次に子どもが一人のできるようになる発達領域のことを意味する。
- ・ ブルーナー (Bruner, Jerome Seymour) は、 [C] の学習理論、 [C] の発生論的研究を踏まえ、教育の現代化運動を進めた。ウッツ・ホール会議に参加し、その議長としてまとめた報告書『教育の過程』には、教育過程を豊かにする方法が提示されている。

ア	慣習的水準以前・慣習的水準・慣習的水準以降の3水準6段階
イ	感覚運動期・前操作期・具体的操作期・形式的操作期の4段階
ウ	レディネス
エ	発達の最近接領域説
オ	思考
カ	認知

	A	B	C
1	ア	ウ	カ
2	ア	エ	カ
3	イ	ウ	オ
4	イ	エ	オ
5	イ	エ	カ

7 次の各文は、いじめ防止対策推進法の条文または条文の一部である。空欄 A～C に、下のア～カのいずれかの語句を入れてこれらの条文または条文の一部を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5 から一つ選べ。

- ・ 学校の設置者及びその設置する学校は、当該学校におけるいじめを ため、当該学校に在籍する児童等に対する定期的な調査その他の必要な措置を講ずるものとする。
- ・ 学校の設置者及びその設置する学校は、 に当たっては、家庭、地域社会等との連携の下、いじめを受けた児童等の教育を受ける権利その他の権利利益が擁護されるよう配慮するものとする。
- ・ 学校は、当該学校におけるいじめの防止等に関する措置を に行うため、当該学校の複数の教職員、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者その他の関係者により構成されるいじめの防止等の対策のための組織を置くものとする。

ア 慎重に見極める	イ 相談体制を整備する	ウ 一時的
エ 実効的	オ 早期に発見する	カ 生徒指導体制を確立する

	A	B	C
1	オ	カ	エ
2	ア	イ	エ
3	オ	カ	ウ
4	オ	イ	エ
5	ア	カ	ウ

8 次の各文のうち、生徒指導提要（平成22年3月 文部科学省）の中の集団指導・個別指導の方法原理に関する記述の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- A 一般的に、コミュニケーションで伝わる内容は、非言語的内容よりも言語的内容の割合が高いといわれているので、教員は態度で示すよりも、言葉ではっきりとメッセージを伝えていく必要があります。
- B 児童生徒の自主性を尊重することで、物事がうまく進まなかったり、失敗したりする場合には、教員が粘り強く指導・援助することは控え、自らが児童生徒に代わって行動することが必要です。
- C 個別指導は、児童生徒が社会で自立するために必要な力を身に付けていけるようにするためのものであり、集団指導とは別のものとして捉えて指導にあたるのが望ましいと考えられます。
- D 集団指導には、一人一人の児童生徒が所属する集団内で、互いに尊重し、よさを認め合えるような、望ましい人間関係を形成し、共に生きていく態度をはぐくむなど、他者との協調性を育成するという側面があります。
- E それぞれの学級集団ごとや、一つの学級集団においても、学級担任・ホームルーム担任とその集団に関係している担当教員間で、指導する基準が異なっているのは、良い集団の環境であるとは言えません。

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	×	×	○	○	×
3	○	×	○	○	×
4	×	○	○	×	○
5	×	×	×	○	○

9 次の各文のうち、「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」（平成27年4月30日 文部科学省）の中の具体的な配慮事項等の記述の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- A 保護者が、その子供の性同一性に関する悩みや不安等を受容している場合は、学校と保護者とが緊密に連携しながら支援を進めることが必要であること。保護者が受容していない場合にあつては、学校における児童生徒の悩みや不安を軽減し問題行動の未然防止等を進めることを目的として、保護者と十分話し合い可能な支援を行っていくことが考えられること。
- B 学級・ホームルームにおいては、いかなる理由でもいじめや差別を許さない適切な生徒指導・人権教育等を推進することが、悩みや不安を抱える児童生徒に対する支援の土台となること。
- C 性同一性障害に係る児童生徒の支援は、最初に相談（入学等に当たって児童生徒の保護者からなされた相談を含む。）を受けた者だけで抱え込むことなく、組織的に取り組むことが重要であり、学校内外に「サポートチーム」を作り、「支援委員会」（校内）やケース会議（校外）等を適時開催しながら対応を進めること。
- D 教職員としては、悩みや不安を抱える児童生徒の良き理解者となるよう努めることは当然であり、このような悩みや不安を受け止めることの必要性は、性同一性障害に係る児童生徒だけでなく、「性的マイノリティ」とされる児童生徒全般に共通するものであること。

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	○	×	○
4	○	×	○	○
5	×	○	○	○

10 次の各文のうち、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」（平成20年3月 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）の中の、学校としての組織的な取組とその点検・評価に関する記述の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- A 学校としての人権教育の目標を設定するに当たっては、様々な人権問題の解決に資する教育の大切さを十分に認識した上で、「人権が尊重される社会の実現」という未来志向的、建設的な目標となるよう、留意することが重要である。
- B 人権教育の全体計画の作成に当たっては、学校・地域の特色を活かした取組や、様々な人との交流活動、ボランティア活動をはじめとした体験活動等を、学校の教育目標全体の中での位置付けにとらわれることなく積極的に設定することが望ましい。
- C 全体計画については、例えば、小学校では体験・交流活動を通して、児童が自分で「ふれる」、「気付く」こと、中学校では他者に「気付く」ことを確かな認識に「深める」こと、高等学校では自分自身の生き方と関連させ、解決に向け地域社会に「発信する」、「行動する」ことに重点を置くなど、発達段階に相応した目標を設定することが望ましい。
- D 児童生徒が自ら課題に気付き、人権問題に直面したときに「おかしい」と直感したり、相手の心の痛みを自分の痛みとして感じたりすることができるように、多様な教育活動の中で人権教育の視点からの工夫を行うことが大切である。

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	○	×	○
4	○	×	○	○
5	×	○	○	○

11 次の各文のうち、「人権教育・啓発に関する基本計画」（平成23年4月1日閣議決定（変更））の中の人権教育・啓発の推進方策に関する記述の内容として誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。

- 1 対象者の理解度に合わせて適切な人権啓発を行うことが肝要であり、そのためには、対象者の発達段階に応じて、その対象者の家庭、学校、地域社会、職域などにおける日常生活の経験などを人権尊重の観点から具体的に取り上げ、自分の課題として考えてもらうなど、手法に創意工夫を凝らしていく必要がある。
- 2 子どもを単に保護・指導の対象としてのみとらえるのではなく、基本的人権の享有主体として最大限に尊重されるような社会の実現を目指して、人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動を充実・強化する。
- 3 学校においては、国際化の著しい進展を踏まえ、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間といった学校教育活動全体を通じて、広い視野を持ち、異文化を尊重する態度や異なる習慣・文化を持った人々と共に生きていく態度を育成するための教育の充実を図る。
- 4 高齢者の人権についての国民の認識と理解を深めるとともに、高齢者も社会の重要な一員として生き生きと暮らせる社会の実現を目指して、人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動を充実・強化する。
- 5 人権啓発に当たり、具体的な事例を取り上げ、その問題を前提として対象者が自由に議論することは、啓発を受ける人の心に迫ることにはならず、効果的な人権啓発とは言えない。

12 次の各文のうち、「障害のある児童生徒の教材の充実について 報告」（平成25年8月28日 障害のある児童生徒の教材の充実に関する検討会）に関する記述の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- A ICTを活用した教材や支援機器の活用にあたっては、一斉指導や小集団学習で活用せず、個別学習や協働学習を中心に取り入れていくことが重要であり、その観点から、指導方法の研究を一層進めていくことが必要である。
- B 教材等の活用については、児童生徒の障害の程度が個々に異なることから、効率的な指導を行うため、学校が組織として障害のある児童生徒の教材等を活用するのではなく、教員が個別に対応することが重要である。
- C 障害のある児童生徒の学習の充実を図るためには、特別支援学校や特別支援学級、通常の学級において、一人一人のニーズに応じて教材等を活用することが効果的であり、各学校において作成される個別の指導計画の中に、教材等に係る合理的配慮の内容について明記することが必要である。
- D 教材等については、従来の紙や具体物を活用した教材からICTを活用した教材まで、児童生徒の障害の状態や特性に応じて適切に活用することが重要である。
- E 家庭で使い慣れた教材等を学校で使うことが効果的な場合もあるが、教材等の持参、管理等が児童生徒や教員の負担となることから、これらの教材等の活用は望ましくない。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	○
2	○	○	×	○	×
3	×	×	○	×	○
4	×	×	○	○	×
5	○	×	×	○	○

13 次の各文のうち、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成24年7月23日 初等中等教育分科会）の中の障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備に関する記述の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

- A 「合理的配慮」は、各学校において、障害のある子どもに対し、その状況に応じて、個別に提供されるものであるのに対し、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校の設置は、子ども一人一人の学習権を保障する観点から多様な学びの場の確保のための「基礎的環境整備」として行われているものである。
- B 通常の学級のみならず、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校においても、「合理的配慮」として、障害のある子どもが、他の子どもと平等に教育を受ける権利を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことが必要である。
- C 通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校それぞれの学びの場における「合理的配慮」は、一人一人の教育的ニーズ等に応じて個別に決定されるものであり、それぞれの学びの場における「基礎的環境整備」の状況に左右されるものではない。
- D 障害のある子どもが通常の学級で学ぶことができるよう、可能な限り配慮していくことが重要である。他方、子どもの実態に応じた適切な指導と必要な支援を受けられるようにするためには、本人及び保護者の理解を得ながら、必ずしも通常の学級ですべての教育を行うのではなく、通級による指導等多様な学びの場を活用した指導を柔軟に行うことも必要なことと考えられる。

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	○	×	○
4	○	×	○	○
5	×	○	○	○

- 14 飲酒運転は、道路交通法で禁止されている違法な行為であるとともに、重大な交通事故に直結するきわめて悪質・危険な犯罪である。また、自分の意思で防ぐことのできる行為であり、とりわけ児童生徒に遵法精神を説くべき教育公務員の飲酒運転は、公務員全体の信用を失墜させるばかりでなく、児童生徒を裏切ることにもなり、絶対に許されず、決して行ってはならない。

次の各文のうち、A～Dの各教諭の行為について、不適切なもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。

- ア A教諭は、4月のある休日に、友人のEさんと二人で午後2時から桜の名所へ花見に行った。A教諭は、電車で現地まで行ったが、Eさんは自動車で来ていた。A教諭のすすめもあって、Eさんは、缶ビール2本と日本酒2合を飲み、昔話に花を咲かせた。A教諭が午後6時に帰る際、Eさんは全く酔っていないと主張し、A教諭から見ても意識もはっきりしているようだったので、A教諭は、Eさんの運転する自動車に同乗し、家まで送ってもらった。
- イ B教諭は、休日にB教諭が運転する自動車で家族と食事に出かけた。B教諭は、レストランでの食事の際に、ワインをグラス3杯飲んだ。2時間後、B教諭は、飲酒したこともあり、飲酒をしていない息子が運転する自動車で帰宅することになったが、息子が駐車場から自動車を出すのに時間がかかったため、B教諭が駐車場から公道を通り数メートル先の飲食店の前まで自動車を運転し、その後は息子が運転して家まで帰った。
- ウ C教諭は、勤務を終え帰宅し、自宅で飲酒を始めた。そのとき、同じ市内に住むC教諭の親から、救急車を呼ぶほどではないが体調が悪いので、すぐに来て病院に連れて行ってほしいと電話があった。C教諭は、飲酒の量は微かであったが普段使用している自動車は使わずに、タクシーを呼び、急いで親の家へ向かった。
- エ D教諭は、部活動の審判講習会に参加し、その会終了後の懇親会にも参加した。懇親会は、午後9時に始まり午前1時まで続いた。その間、D教諭は、飲酒を続け、ビール大びん3本と日本酒5合を飲み、タクシーを利用して自宅に帰り、午前2時に就寝した。翌朝は部活動の試合だったため、深夜まで飲酒はしたが、睡眠もとり、アルコールも体内に残っていないだろうと判断し、午前6時に自転車を運転して学校へ向かった。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | |
| 2 | ア | エ | |
| 3 | ア | イ | エ |
| 4 | イ | ウ | |
| 5 | イ | ウ | エ |

15 学校は、児童生徒、保護者等から様々な個人情報を収集・保管しており、教員はこれらの個人情報を慎重に扱う必要がある。個人情報の管理を誤ると、個人のプライバシーを侵害し、大きな被害の発生につながるだけでなく、学校の信用も失墜させることから、教員は関係法令や校内のルールを遵守しなければならない。

次の各文のうち、A～Dの各教諭の行為について、不適切なもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。

ア A教諭は、勤務する小学校の修学旅行の引率担当をしていた。A教諭は、保護者や同僚の教員に修学旅行中の児童の様子を知らせようと思い、児童や保護者の了解を得ないまま、写真や動画を、A教諭が個人で開設しているホームページで誰でも閲覧できるようにした。

イ B教諭は、放課後、担任をする学級の教室で、生徒指導担当のE教諭と二人きりで、生徒Fさんの交友関係の悩みについて情報共有し、生徒指導用のノートに記録していた。その時、B教諭とE教諭を呼び出す校内放送が入った。B教諭は、放課後であり、生徒の出入りもないと考え、記録していたノートを開いたまま放置し、教室の施錠をせず、二人で職員室に向かった。

ウ C教諭は、放課後、担任をする学級の児童の保護者Gさんから「子どもが学校で同じクラスの児童Hさんを叩いたと言っている。謝罪のために、至急、Hさんの保護者の方と連絡をとりたいので、連絡先を教えてください。」との電話を受けた。C教諭は、Gさんに、他の人には絶対にその連絡先を知らせないという約束で、Hさんの連絡先を口頭で伝えた。

エ D教諭は、放課後、相談室で担任をする学級の生徒Iさんから、学校に行きたくないという相談を受けた。その中で、家庭状況が大きく関わっていることがわかった。翌日、その内容は、プライバシーに関わることであったので、管理職に相談したうえで、関係する教諭に対して、Iさんから聞いた内容について報告し、情報共有した。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | |
| 2 | ア | ウ | エ |
| 3 | イ | エ | |
| 4 | ウ | エ | |
| 5 | ア | イ | ウ |